

(設定。ドラマ撮影で田舎まで来た新人アイドル(演じるキャラ)。脇役として殺人気に底なし沼に落とされる女性役を任され、迫真の演技を見せる)

(キャラ。新人アイドル17才。クールな見た目で性格も大人びていて綺麗な容姿。口数は多い方ではないが会話は普通に作る。基本的には敬語でプロデューサーの事は気に入っている。演技に関しては新人だからと甘えず本気で取り組む)

(演じる際にお願いしたいこと。

- ①はあー！やふうー！といった息を吐く所は声はあまり出さず吐息だけでお願いします。
- ②ぶっ！やぶふっ！ぶふう！などの「ぶ」がつく所は口に付いた泥を飛ばしているイメージ。)

(下記台本)

(撮影現場を見ながら)

「ドラマの撮影で田舎の沼を使うとは聞いて  
ましたが..」

「ここまで本格的な沼とは思いませんでした」

「いえ。プロデューサーがせっかく持ってきた  
仕事ですからきちんとやります」

「私の役は第7話の冒頭に出てくる女性で、  
本作の連続殺人鬼に底なし沼に沈められ殺さ  
れてしまうと」

「5分程の撮影ですが一生懸命頑張ります。  
それではよろしくお願いいたします」

(殺人鬼に底なし沼に沈められて抜け出そう  
と腕(もが)いている。身体が少しずつ沈む恐  
怖を感じながら)

「んっ..あっ..くっ..！身体が沈むっ」

「何でこんな事を。えっ？暇潰しってそんな」

(必死に言う)

「うっ..あっ..！はぁ..！はぁ..！お願い助けて..！私死にたくない」

「あっ..待って！待ってよ..！私を置いて行かないで..！」

(絶望してる)

「はぁ..！ふう..！そんな..待ってよ。ねえ..手足縛られてるんだよ？足に重りも付いてるんだよ..？」

「ねえ..戻ってきてよ！ねえ！！」

(体勢を崩して沼が口に入りパニックになる)

「あっぷっ！おっ..ふっ！ぶはっ！はぁー！

はぁー！ごほっげほっ！溺れっ！ぶふっ！  
ふうー！ふうー！ごふっ！げふっ！助  
けっ..！んぶっ！」

「ぶはっ！はぁー！はぁー！沈むっ！身体  
が..！はぁー！ふうー！このっ！くっ！ほど  
けてよっ！ふっ！くう！」

「はぁー！ふうー！はぁー！ふうー！待っ..  
もう..顔に..うぶっ！おっぶっ！うっ..ふう！  
ふうー！ふうー！苦しっ..んっ..ぶっ..」

(顔以外すべて沈み、抵抗する力もなくなっ  
た様子)

「ぶほっ！..おっふっ。うっ..はぁ..ふう..  
はぁ..ふう..」

(力なく呟いてる様子)

「も、もう..だめ..身体が動かせない」

「やだっ..よ..こんな最後..なんで..私何もして  
ないのに」

「はぁ..はぁ..うっ..ぷっ..ふう..ふう..口に入っ  
てくる」

(口が沼から出せなくなっていき、苦しそう  
に言う)

「ごほっ！げほっ！はぁ..はぁ..お願い..誰か  
助けて..こんなのやだ..苦しいのは..うっ..  
ぷっ！おぷっ！ぷぷっ！」

「あっ..くっ..んはぁ..ふうー..ふうー..息が..苦  
しい..本当に死ぬの私..」

「そんなのやだ..やっ..んぷっ..ぷはっ..！  
はぁ..ふう..ふう..うっふう..ふう..」

(口に沼の泥が入ってきて、苦しみながら沈  
んでいく)

「あっ..おぷっ..！ぷぷっ！ふうー..！

ふうー..！助けてっ..助けっ..おぼっ！おっ..  
ぶっ..だずげっ..んぶっ..んっ..んんっ..」

(鼻息です。んふっー！で吸ってすうー！で吐いて下さい。テンポは普通に鼻呼吸をする感じで)

「んふうー！すうー！んふうー！すうー！ん  
ふうー！すうー！んふうー！すうー！ん  
ふうー！すうー！んふうー！すうー！ん  
ふうー！すうー！」

(ぐもった声を出しながら鼻息をする)

「んっ..くっ..んふっー！すうー！んふっー！  
すうー！..んっ..んむっ..んんう..すうー！ん  
ふうー！すうー！んふうー！..んっ..ぐっ！  
んっ..んっ..すうー！んふうー！すうー！」

(ここは鼻息でゆっくり吸って下さい)

「んふうー—————.....！！」

(全身沼に沈み、ぐもった声を出している)

「んっ...びっ..んくっ...んっびっ..んんっ..  
んっ..ん..」

(苦しそうに)

「んんっ..んっ....んっ....!んぐっ..!んっ!ん  
んびっ!んっ!んんっ!んびうー!ん  
ぐうーー!!!」

(後半に行くにつれてだんだん力弱くなる)

「んむうーー!!!んっ!んんんっ!!!んっ!  
んびっ!んっ..!んんんう...!んっ....!んっ..  
くっ....!」

「んっ...ん....!んっ..びっ...!んっ..!ん....  
んう....ん..んびっ..」

「ん....ん....く..っ.....ん..んむう....んっ....ん....  
ん..」

(演技のOKが出て沼から顔を出す)

「ぶはあ！！はあー！はあー！はあー！  
はあー！」

(深く息を吐く)

「ふうー...！演技の方は大丈夫でした？」

(まだ少し息が上がっている)

「はあ..はあ..それは良かったです。はあ..  
ふう..」

「はあ..ごめんなさい。正直息を止めているのが辛くて、はあ..はあ..まだ息が整わないんです」

「でも一発OKが出たので大満足です」

「はあ..はあ..ふうー..。プロデューサー、ありがとうございます。まだまだ未熟者だけどこれから頑張るから応援しててください」

「はい。期待しててください」